

# 少子高齢社会にどう 向き合うか？

## —社会は？私たちは？—

場 所： 市民交流センター第2・3会議室

### 第1回



#### ■人口成熟時代の経済学

-現実を知り勇気を持って進もう-

講師 藻谷 浩介氏

(株)日本総合研究所主席研究員

5月26日(土) 12:30-14:30

### 第2回



#### ■脳を守ろう

-脳梗塞・認知症を予防するために-

講師 岩田 誠氏

メディカルクリニック柿の木坂院長  
東京女子医科大学名誉教授

6月2日(土) 12:30-14:30

### 第3回



#### ■未来社会のために今、社会は 何をすべきか

-社会保障改革の道筋-

講師 曾根 泰教氏

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

6月9日(土) 12:30-14:30

### 第4回



#### ■少子高齢化社会で今後 何が起こるか

-人口学からみた将来展望-

講師 鎌田 健司氏

国立社会保障・人口問題研究所人口構造研究部室長

6月16日(土) 12:30-14:30

申し込み方法・問い合わせ先（申し込みは5月1日～15日まで）

記載内容：①講座名「少子高齢社会にどう向き合うか？」②住所 ③氏名 ④電話番号

申し込み先：NPO 法人ずし楽習塾推進の会（上記① - ④を記してハガキ・Fax・メールで）

〒249-0006 逗子市逗子4-2-11 Tel/Fax 046-871-7007

資料代：¥500（4講座分）※応募多数時（定員60名）は抽選で決めさせていただきます。

Eメール z-gakushujuku@bz04.plala.or.jp URL <http://zushigakushu.jp/>

ホームページ・交流センター窓口でも申し込み出来ます（電話での申し込みは受け付けません）





# 少子高齢社会にどう向き合うか？



## 各講座要旨ご案内

期 日	講座タイトル&要旨	講 師
5月26日 (土)	<p>「人口成熟時代の経済学」 —現実を知り勇気を持って進もう—</p>	<p>(株)日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介氏</p>
	<p>① 豆子和首都圏と世界で起きている人口成熟の実際 ② 人口成熟がもたらす需要の成熟 ③ 人口成熟の後に来る時代とは</p> <p>世の「空気」や先入観と大きく異なる現実を知り、それを前提に対処策を考えましょう。</p>	
6月2日 (土)	<p>「脳を守ろう」 —脳梗塞・認知症を予防するために—</p>	<p>メディカルクリニック柿の木坂院長 東京女子医科大学名誉教授 岩田 誠氏</p>
	<p>私達が毎日の日常生活を営むことができるのは、脳のおかげです。ですから、脳が壊れると、日常生活がうまく思うように出来なくなってしまいます。私たちの脳をこわす病気として、加齢とともに増えてくる代表的な病気は、脳梗塞とアルツハイマー病です。これら二つの病気に、私たちはどう立ち向かっていけばよいか、一緒に考えてみませんか。</p>	
6月9日 (土)	<p>「未来社会のために今、社会は何をすべきか」 —社会保障改革の道筋—</p>	<p>慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科教授 曾根 泰教氏</p>
	<p>過去、政府の負債がGDP比200パーセントになるのは、イギリスではナポレオン戦争や第二次世界大戦の後だ。戦争をしていない現在の日本も、200パーセントを超えている。今の日本は社会保障費を賄うのに汲々としている国なのだ。今の日本は社会保障の給付を賄うために、戦時国債なみの国債発行で凌いでいる。保険料だけでは、給付が賄えない。税金を含め、未来の改革には私たちはどうしたらいいのだろう。</p>	
6月16日 (土)	<p>「少子高齢化社会で今後何がおこるか」 —人口学からみた将来展望—</p>	<p>国立社会保障・人口問題 研究所 人口構造研究部室長 鎌田 健司氏</p>
	<p>今後、わが国は2つの大きな試練に直面します。1つは「人口減少」、もう1つは「高齢化」です。長期にわたる超低出生率（少子化）と世界最高水準にある平均寿命（長寿化）によって、わが国の人口構造は人口が減少しながら高齢化が進むことが予測されています。このような少子高齢化・人口減少社会の到来とその要因、将来人口のゆくえについて人口学的見地からお話いたします。</p>	